台風・集中豪雨への備えは大丈夫ですか？

夏から秋にかけては台風や集中豪雨が発生しやすく，毎年各地で土砂災害や暴風雨による被害が出ています。７月には，山口県でも集中豪雨が発生し，甚大な被害をもたらしました。

台風や集中豪雨の特徴を理解し，普段から気象情報に注意しておきましょう。また，家の周りや地域の危険箇所を確認し，家族や地域で安全対策を話し合っておきましょう。

大規模な災害が想定される場合には，早めに安全な場所へ避難するなど防災意識を高めることが重要です。

【問い合せ先】総務課（☎ 82-1122）

こんな台風には特に注意が必要です

熱帯の海の上で生まれた低気圧のうち，最大風速（10 分間平均）がおよそ秒速 17m 以上のものを「台風」と呼びます。台風の中心が西側を通過するときは雨・風ともに非常に強くなり，特に注意が必要です。また，台風が接近し，気圧が低下することで海面が高くなるため，接近が満潮と重なったときは，海岸や河口付近では特に注意が必要です。

集中豪雨に備えましょう

短時間に狭い範囲に集中して降る雨を集中豪雨と呼びます。日本付近で前線が停滞しているとき，台風が接近・上陸したときや大気が不安定で次々と雷雲が発生するときに発生しやすいとされています。また，集中豪雨は突発的に発生するため，長期予想は非常に困難です。急速に積乱雲が発生したときなどは，最新の気象情報に十分注意しましょう。

被害に遭う前の備えが大切です

◆家のまわりを確認しましょう

水害に備え，側溝や排水溝の掃除をし，水はけをよくしておきましょう。また，屋根，雨どい，外壁，窓ガラス，ブロック塀などの点検，補強も台風が来る前に普段から行っておきましょう。

◆非常用品を蓄え「非常持出袋」備えましょう

日ごろから非常時に必要な用品を蓄え，すぐに行動できるよう「非常持出袋」を準備して，避難に備えておきましょう。非常持出袋は，避難する際に両手が使えるようリュックサックなどを利用しましょう。

例 貴重品，飲料水，非常食品，懐中電灯，携帯ラジオ，救急医薬品，生理用品 等

◆避難場所を確認しましょう

河川の氾濫，高潮による浸水が起きる恐れがある箇所や避難場所の情報が載っているハザードマップを確認しておきましょう。ハザードマップは，総務課で入手できるほか，市ホームページからもご覧いただけます。また，道路が冠水している場所では，用水路や階段の段差などが見えなくなります。普段から避難場所への道順を確認しておきましょう。

◆ご近所と話し合いましょう

ご近所付き合いは，避難の時や災害が発生した際に大きな力となります。特に隣近所にお年寄りや体の不自由な人がいる場合は，いざというときに支援できるようにコミュニケーションを取り合っておきましょう。